

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	救急医療対策事業		担当部署	健康福祉部 健康づくり課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市小児救急医療支援事業 補助金交付要綱	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり	事業期間	開始	昭和 52 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると		終期	未定
(小項目)		保健・医療			
施策	7	健康・医療対策の推進			
基本事業	4	医療の充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	市民が安心できる地域医療を確保するため、夜間休日在宅当番医制度の維持・存続や二次救急・小児救急の医療の体制を確保する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		軽度の救急搬送率	32	32	32	32	32	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	小児のコンビニ受診を抑制するため、出生届時に「小児救急ハンドブック」を配布し、乳児健診等の案内時に「お子さんの急病対応」ガイドブックを併せて送付した。 また鳴門市医師会との委託契約による夜間・休日在宅当番医制度を実施、夜間・休日当番医を市の広報紙、ホームページ等で掲載した。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	啓発活動(出前講座・連携事業)	2	3	3	3	件
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	軽度の救急搬送率		36	38	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)			118.8	—	—	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位
事業費 (財源内訳の合計)		15,900	14,272	14,072	15,123	14,304	千円
財源内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	1,024	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
一般財源		14,876	14,272	14,072	15,123	14,304	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		652	652	652	652	652	人
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
	臨時職員等(2,012千円/人)						
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		16,552	14,924	14,724	15,775	14,956	千円

【事務事業名:救急医療対策事業】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	医療について市民に啓発するため、広報や出前講座を利用していく。コンビニ受診の抑制を図るためや、子育て支援の充実を図るためにも、小児用救急ハンドブックの配布を継続していく。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄	
	10 /10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策「健康・医療対策の推進」の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄	
	8 /10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	市民に対して啓発する機会を増やし、市民の関心を高める取り組みを検討する。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 事業対象は適切である。	
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
<input type="checkbox"/>		⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価		理由等所見欄		
8 /10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	市民は地域医療や救急医療については必要であるという認識はあるが、それぞれの病院の機能や役割分担等についての市民の認識を一層深める必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	継続実施				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか	<input style="width: 100%;" type="text"/>			